

# 令和4年度 決算 報告

**歳出  
総額** **605.5億円**  
(対前年度比 1.4%増)

**歳出のトップは扶助費**  
歳出決算額を性質別にみると、扶助費などの義務的経費が255.2億円(42.1%)、補助費等などその他の経費が252.4億円(41.7%)、普通建設事業費などの投資的経費が97.9億円(16.2%)となりました。

**歳入  
総額** **646.8億円**  
(対前年度比 2.2%増)

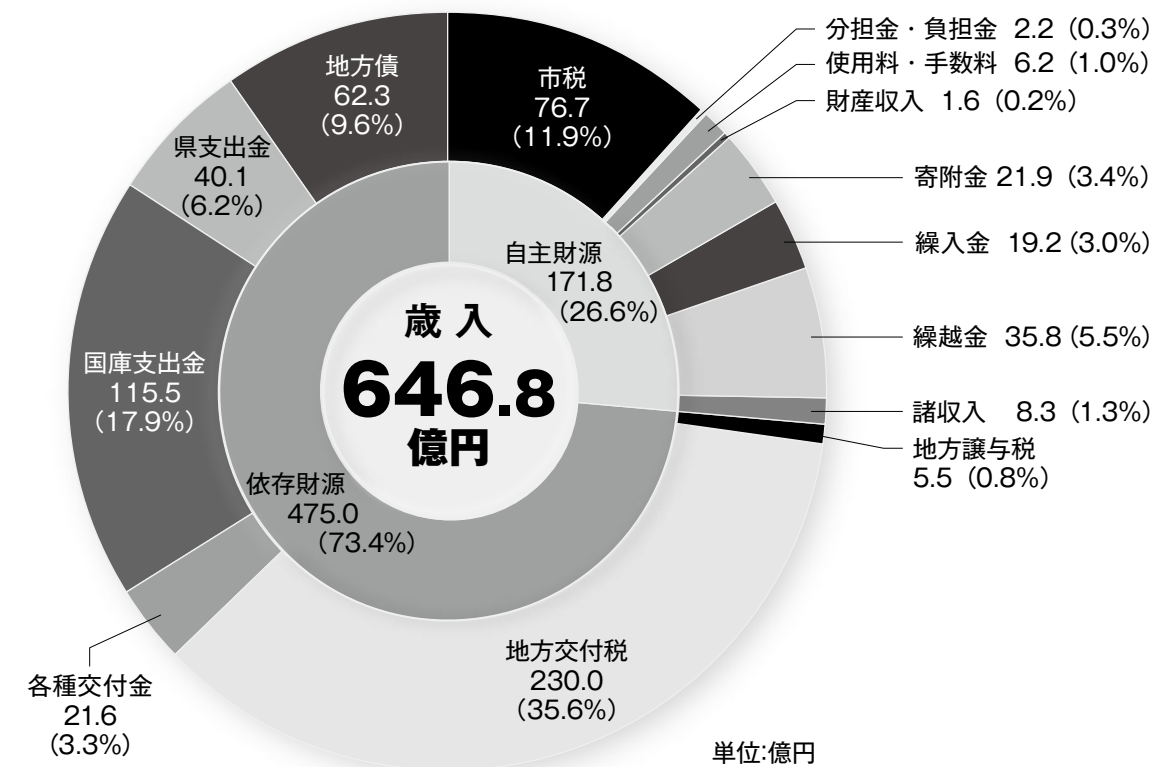
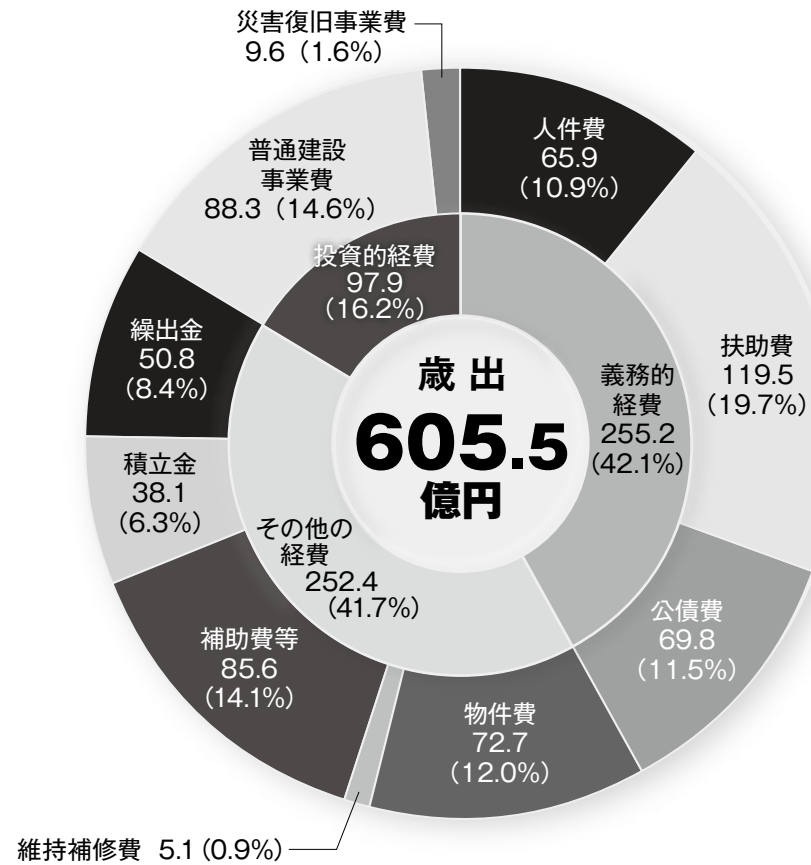
**歳入の73%が依存財源**  
歳入決算額を財源別にみると、市税などの自主財源が171.8億円(26.6%)、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が475.0億円(73.4%)となりました。

本市の令和4年度の決算がまとまりました。  
どのようなお金が入ってきて、どのような事業に使ったのか。また、これらの数字から市の財政事情はどうかを見ていきます。  
☎財政課 ☎27-5053

令和4年度の一般会計の決算は、前年度と比較して歳入が13.7億円(2.2%)増の646.8億円、歳出が8.2億円(1.4%)増の605.5億円となりました。歳入から歳出を差し引いた形式収支は41.3億円、この額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は37.9億円の黒字となりました。

**【性質別のお金の使い道】**

- **扶助費**  
生活困窮者、子ども、高齢者、障がい者などを援助する費用
- **公債費**  
国や銀行などから借り入れたお金の返済のための費用
- **物件費**  
旅費や物品の購入費、委託料、賃借料などの費用
- **補助費等**  
広域連合(消防やごみ処理)に対する負担金や企業会計への補助金などの費用
- **繰出金**  
特別会計へ援助する費用
- **普通建設事業費**  
道路や橋りょう、漁港、観光施設や学校などの公共施設の整備費用



※金額や( )内の構成比の合計と内訳は、表示単位未満を四捨五入しているため必ずしも一致しません。

**企業会計の決算状況**

区分	収入	支出	
水道	収益的収支	23億4,074万円	22億1,853万円
	資本的収支	3億7,860万円	14億4,637万円
下水道	収益的収支	18億8,153万円	17億3,161万円
	資本的収支	7億 630万円	13億3,034万円
病院	収益的収支	46億7,022万円	38億7,434万円
	資本的収支	5億4,108万円	8億 811万円

**企業会計とは**

商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置するものです。

**特別会計の決算状況**

区分	収入	支出
国民健康保険	119億5,289万円	118億2,477万円
介護保険	118億9,661万円	113億6,317万円
後期高齢者医療	14億1,649万円	14億 960万円
浄化槽市町村整備推進事業	1億 210万円	1億 200万円
国民健康保険診療施設	3億1,823万円	3億 207万円
斎場事業	1億3,831万円	1億3,376万円

**特別会計とは**

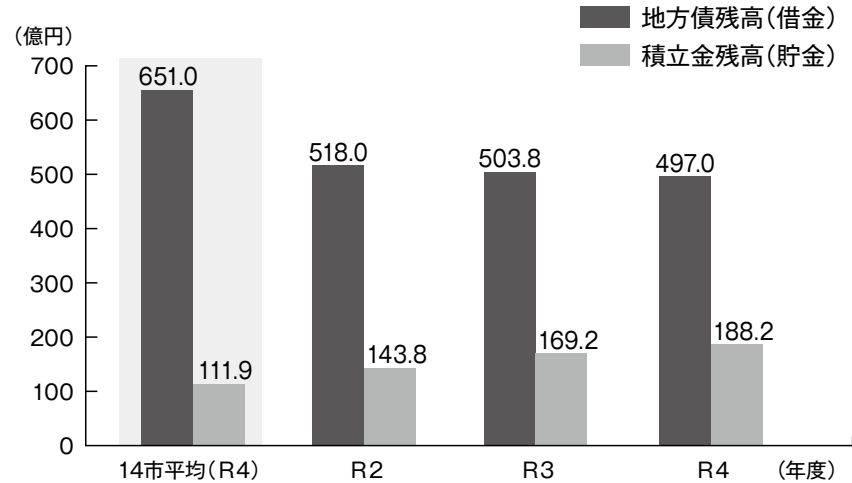
特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して会計処理をした方が望ましいときに設置するものです。



## 天草市の財政状況

市の財政状況の良しあしは、1つのものさしだけでは測れません。さまざまな指標を県内14市の平均値やこれまでの推移と比較しながら見ていきましょう。

### 市の借金と貯金の推移



#### ●地方債(市の借金)

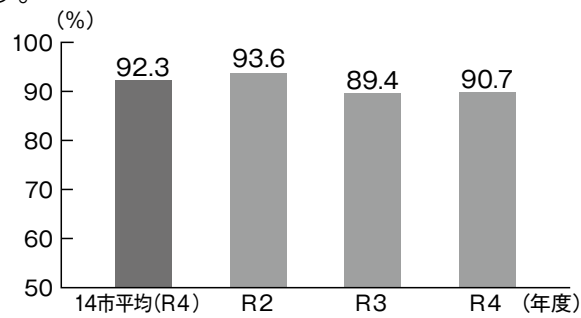
財政運営の基本方針として、借入額は元金返済額を超えないようにしているため、前年度から6.8億円減少しました。

#### ●積立金(市の貯金)

前年度からの繰越金の増加や今後必要となる地方債の返済金の積み立てなどにより、前年度から19億円増加しました。

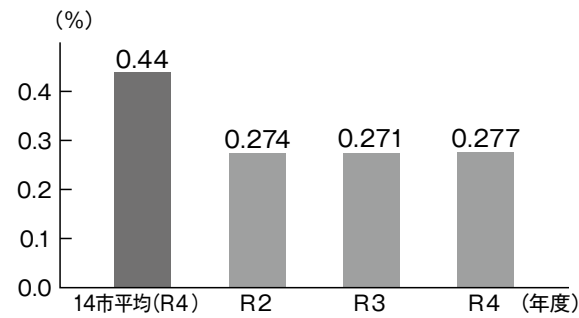
### 経常収支比率

市税や普通交付税など経常的に入ってくるお金を、社会保障費や人件費など経常にかかる経費にどのくらい使っているかを見る指標で、前年度から1.3ポイント増加しました。この比率が高いほど財政状況に余裕がないこととなります。



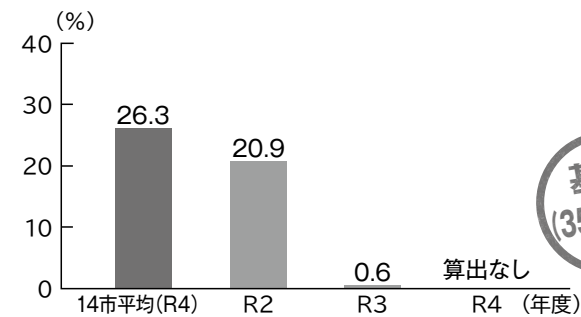
### 財政力指数

標準的な行政活動を行うために必要な財源を、自力でどの程度調達できるかを見る指標で、前年度から0.006ポイント改善しました。指数が小さいほど財政力が弱く、交付税や補助金などに頼っていることを示します。



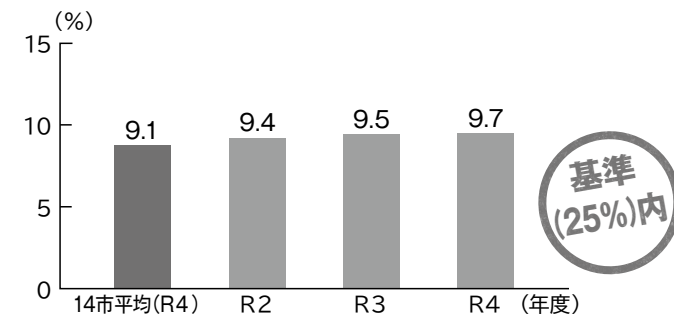
### 将来負担比率

借金の返済や職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度かを示す指標で、令和4年度は収入が負債を上回ったため算出されていません。この割合が高くなるほど、将来財政を圧迫する可能性が高いということになります。






### 実質公債費比率




収入に対する一般会計などの借金の返済の割合を見るもので、前年度から0.2ポイント増加しました。この割合が高くなるほど資金繰りが悪くなっていることとなります。18%を超えると、借金をするときに国の許可が必要となります。





## 市の予算はこんなことに使いました

一般会計の歳出を市民一人当たりで換算すると、年間で81万7,302円(R5.3.31現在の人口で計算)。市税の収入は、一人当たり10万3,538円なので、不足する71万3,764円は地方交付税や国・県からの支出金などで補っていることとなります。

項目	民生費	総務費	公債費
決算額	179億2,147万円	135億9,664万円	69億8,080万円
市民一人当たり	24万1,891円	18万3,518円	9万4,222円
決算に占める割合	29.6%	22.5%	11.5%
主な事業	高齢者、障がい者、児童の福祉など 	総務・財産管理、企画調整、地域振興、税務事務など 	施設整備などで借りたお金の返済 

項目	衛生費	教育費	土木費
決算額	61億2,974万円	42億9,813万円	38億1,691万円
市民一人当たり	8万2,735円	5万8,013円	5万1,518円
決算に占める割合	10.1%	7.1%	6.3%
主な事業	健康増進事業やごみ、し尿処理などの環境保全 	学校の運営管理やスクールバスの運行、施設整備など 	道路、河川、公園、市営住宅の整備など 

項目	商工費	農林水産業費	その他の経費
決算額	23億5,850万円	23億5,541万円	30億9,549万円
市民一人当たり	3万1,833円	3万1,791円	4万1,781円
決算に占める割合	3.9%	3.9%	5.1%
主な事業	商工業、観光の振興など 	農業、林業、水産業の振興など 	消防活動や消防施設の整備、議会運営、災害復旧費など 